

発議第6号

オスプレイ配備に対する意見書について

上記の議案を別紙のとおり、流山市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

平成25年3月22日提出

提出者

流山市議会議員 小田桐 仙

賛成者

流山市議会議員 植田 和子

〃 徳増 記代子

〃 乾 紳一郎

オスプレイ配備に対する意見書

昨年9月9日沖縄県で、10万余の県民が結集して「オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会」が開催され、日米両政府による垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの強行配備に対し、撤回を求めた。さらに今年1月27日、「NO OSPREY（ノー オスプレイ） 東京集会」が都内で開催され、沖縄県全市町村長・各議会議長（代理も含む）、県議が参加し、『建白書』が安倍首相に提出された。

超党派による前例のないほどの大きな取り組みは、今年の県民大会後、ひと月もたたない10月1日に、オスプレイを強行配備したこと、その後の2カ月間で、県・市町村による監視において300件超の安全確保違反が目視されていることにある。

また、再三の注意や申し入れにもかかわらず、米軍基地の存在ゆえに幾多の基地被害をこうむり、1972年の復帰後だけでも、米軍人等の刑法犯罪件数が6千件近くに上ることなど米軍による事件・事故、騒音被害が後を絶たない状況も沖縄県民の怒りを広げる原因ともなっている。

その上、普天間基地に今年7月までに米軍計画による残り12機のオスプレイ配備を行い、さらには2014年から2016年にかけて米空軍嘉手納基地に特殊作戦用垂直離着陸輸送機CV22オスプレイの配備が明らかになったことは言語道断である。

そこで、沖縄県民の願いに心を寄せ、以下のことを政府に緊急要望する。

記

- 1 オスプレイの配備を直ちに撤回すること。
- 2 今年7月までに配備されるとしている12機の配備を中止すること。また嘉手納基地への特殊作戦用垂直離着陸輸送機CV22、オスプレイの配備計画を直ちに撤回すること。
- 3 米軍普天間基地を閉鎖・撤去し、県内移設を断念すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年3月22日

衆議院議長	伊吹	文明	様
参議院議長	平田	健二	様
内閣総理大臣	安倍	晋三	様
外務大臣	岸田	文雄	様
防衛大臣	小野寺	五典	様

千葉県流山市議会